



オンライン火災図上訓練の推進



愛知県 名古屋市消防局

事例類型 I 実効性向上、III 効率化、VI 広報活動、VII デジタル化、VIII その他

取組期間 令和2年4月から

背景

名古屋市南消防署では、令和元年度から火災発生時における初動対応能力の向上に大きな効果がある火災図上訓練を区内の事業所とともに積極的に行っている。

しかし、令和2年度に入り、新型コロナウイルス感染症のさらなる拡大を受けて、1つの図面を大人数で囲み議論をする従来からの火災図上訓練の方法では、必然的に訓練参加者が密集し密接することから実施が困難な状況となっており、**コロナ禍においても実施できる火災図上訓練の新たな手法が求められていた。**

内容

Web会議システムの「Zoom」を活用し、事業所に向向することなく、かつ、**新型コロナウイルス感染症の感染リスクのないオンライン型の火災図上訓練を考案した。**

なお、訓練内容の検討に際しては、Zoomの特長を最大限に生かせるよう、大学などで行われるオンライン講義を参考に、ホワイトボードに掲げた建物平面図と訓練進行役であるファシリテーターをビデオカメラで映し、Zoomを通じてその様子を訓練参加者に見ていただくこととした。



< 図面を掲示しての訓練進行 >



< 訓練進行の様子の撮影・配信 >

そして、区内の事業所に対してオンライン型火災図上訓練の実施を働きかけ、コロナ禍で例年実施している消防訓練が行えずに悩んでいた事業所と実施することとなった。

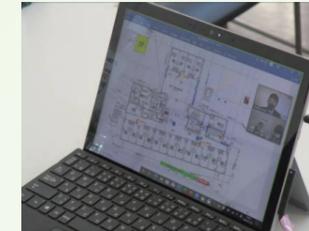
実施した結果、**オンライン型火災図上訓練は、その長所を生かすことで非常に高い訓練効果を得ることができると確認できた。**主なメリットは、以下のとおりである。

- ① 新型コロナウイルス感染症の感染リスクが皆無である。
- ② 事業所への出向や会場設営が不要なため、**訓練に要する時間が大幅に削減できる。**
- ③ パソコン内に保存した**火災や煙の動画等を共有**することで、訓練参加者がよりリアルに火災発生時の状況をイメージすることができ、**質の高い火災図上訓練につながる。**

一方、デメリットとしては、使用する機器の性能により画像や音声の質が左右されることや、対面式と比べてコミュニケーションをとることが難しいことがあげられた。そこで、通信テストによる画像及び音声状況の事前確認や、ティーチングの要素を指導方法に取り入れるなどして、問題を解決した。

その後、さらに多くの事業所に実施を呼びかけ、5か月間で計13の事業所とオンライン型火災図上訓練を行うことができた。この経験と実績により、訓練手法をさらに精錬することができ、参加者からは「オンラインと聞いて不安だったが、動画などもあり非常にわかりやすい訓練だった。」や「コロナ禍でも安心して訓練に取り組むことができた。」などの評価をいただくことができ、確かな手ごたえを実感しているところである。

現在では、**建物平面図をデータ化**することで、使用する機材をパソコンとヘッドセットのみに簡略化し、さらに**効率的なオンライン型火災図上訓練を実施している。**



< 建物平面図をデータ化して共有 >



< パソコンとヘッドセットのみで実施 >

成果

防火対象物への立入検査や消防訓練の出向指導など、消防職員が関係者と直接会うことを基本としてきた予防業務全般が、コロナ禍において著しく実施が困難な状況となっている。そのような中、**新型コロナウイルス感染症の感染リスクが全くないオンライン型火災図上訓練という、時代のニーズに合った訓練手法を確立することができた。**

また、オンライン型火災図上訓練を構築するまでに培った知識や技術を生かして、**オンライン会議の実施、TwitterやInstagramで合計1万回以上の再生回数を記録した住宅用火災警報器の設置促進動画(「ナカムラに訊け!」)の製作編集及びYouTubeを活用したオンライン型火災図上訓練のライブ配信も行っている。**



< オンライン会議の実施 >



< 住宅用火災警報器の設置促進動画 >

特にオンライン型火災図上訓練のライブ配信は、当該訓練事業所へ限定的に公開しているものの、訓練に参加できなかった従業員の方も、各自の情報端末からYouTube上で訓練の様子をリアルタイムで確認することができる。また、動画の保存も可能であり、例えば従業員が千人規模の大企業であろうとも、空いている時間にその動画を確認するなどの工夫により、全ての従業員に訓練を疑似体験してもらうことも可能である。

以上のとおり、名古屋市南消防署では**オンライン型火災図上訓練を通じて、予防業務のICT化を図ることができた。**今後もこれらの技術をさらに発展させ、さらなる予防業務の推進に取り組んでいきたい。

特記事項

本件取組の成果は、「**火災図上訓練指導マニュアル**」として取りまとめ、名古屋市南消防署ウェブサイトに掲載し、他の消防本部の方でも参考にしていただけるよう、火災図上訓練の普及啓発に努めている。

(<https://www.city.nagoya.jp/shobo/page/0000124977.html>)

